

 評価のポイント

CL-II. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

[12-2] さまざまな症状を呈する小児への看護 脳・神経症状（複雑事例編）

発熱・けいれん後の患児が精査目的で入院となりました。あなたは入院当日の夜勤看護師です。神経症状の経時的な観察および記録を行ううえで、どのような注意点がありますか。

一定の間隔で、定時的に意識レベルを中心とした状態観察を行い記録されること。意識レベルは外観の観察(活気、表情など)とともに、評価スケールを活用して数値化すること。睡眠中の場合、(何時間かおきに)刺激を加えて意識レベルを確認するべきか医師に確認すること。(スライド 8-13 参照)